

<b>2014-B</b>					
<b>拠出金・基金の名称</b>		SEAMEO-Japan ESD Award			
<b>種 別</b>		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
<b>【拠出先の国際機関名】</b> : 東南アジア教育大臣機構 (SEAMEO)					
<b>【所管官庁担当局課・室名】</b> : 文部科学省 大臣官房 国際課					
<b>【当該任意拠出金の目的・用途等】</b>					
<p>SEAMEO加盟国内の小・中・高等学校におけるESD※に関する優良な実践例を表彰することで、域内のESDへの取組を促進することを目的としたSEAMEO-Japan ESD Awardの運用資金としてSEAMEOへ拠出している。第1位から第3位までを表彰するとともに、第1位の学校を対象とした日本スタディーツアーを行い、日本のユネスコスクールとの交流を実施する。</p> <p>拠出金の用途は「審査委員会の実施」、「授賞式の実施」、「受賞校への賞金」、「日本スタディーツアーの実施」に使われる。</p> <p>※ESD: 持続可能な開発のための教育。持続可能な社会の担い手を育むための教育であり、国連決議に基づき、ユネスコを主導機関として国際的に取り組まれている。</p>					
<b>【最近3年間の我が国支払額及びODA率】</b>					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千 )	レ ー ト	ODA率 (%)
平成26年度	2,000	21	-	1(通貨) = 97円	100
平成25年度	2,000	24	-	1(通貨) = 82円	100
平成24年度	2,000	25	-	1(通貨) = 81円	100
<b>【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】</b>					
<p>我が国にとってSEAMEOは、ASEAN全域との関係を強化できる重要なパートナーであり、成長著しいASEANの人材の育成に我が国が貢献することは大変有意義。2014年度拠出金では第3回「SEAMEO-Japan ESD Award」を実施。同事業は、我が国が推進するESD概念を積極的にSEAMEO加盟国全体へ発信するものであるが、第1回から第3回まで通算で、258校のエントリーがあり、同事業を通じたESD概念の浸透が伺える。また、予算面においても、SEAMEO事務局に拠出することで対一国ではなく加盟国全体に対して事業を実施し影響を及ぼせるものとして、評価できる。</p>					